

第5編財務会計 整備管理規程

公立大学法人宮城大学整備管理規程

平成22年6月28日

規程第104号

(目的)

第1条 この規程は、公立大学法人宮城大学所有自動車等管理規程（平成22年宮城大学規程第99号。以下「管理規程」という。）第6条及び道路運送車両法施行規則（昭和26年運輸省令第74号。以下「規則」という。）第32条第2項の規定に基づき、自動車の安全運行を維持するために必要な点検・整備の内容、これを確実に行わせる任に当たる整備管理者の職務権限等について定め、もって車両の安全の確保及び環境の保全等を図ることを目的とする。

(整備管理者の選任等)

第2条 整備管理者の選任は、規則第31条の4に定められた資格要件を備えた者のうちから管理者（事務局長をもって充てる。以下同じ。）が任命する。

2 管理者は、整備管理者を選任、変更若しくは解任したときその他規則第70条第1項第3号に該当する場合には、15日以内に国土交通省に届け出るものとする。

3 整備管理者の補助者（以下「補助者」という。）を選任する場合には、整備管理者と同等又はこれに準じた知識及び能力を有すると認められる者（整備管理者の資格要件を満足する者又は研修等により整備管理者が十分な教育を行った者）のうちから管理者が任命するものとする。補助者を選任した場合であっても、車両の整備管理に関する責任は、整備管理者自身が有するものとする。

4 管理者は、上記により整備管理者及び補助者を選任した場合は、遅滞なくその所属、職氏名、及び補助者の職務の範囲等について、整備管理者選任名簿（様式第1号）に記載するものとする。これは、整備管理者及び補助者の変更又は解任があった場合も同様とする。

5 管理者は、整備管理者、補助者その他の車両管理を行う者の氏名、連絡先等を職員に周知徹底するものとする。

(補助者との連携等)

第3条 整備管理者は、職務の適切な実施のため補助者と密接に連携をとるものとする。

2 整備管理者は、自らが学内に不在のときに補助者を通じて職務を実施する場合には、その職務を実施するために必要な情報をあらかじめ補助者に伝達しておくものとする。

3 前項の場合において、整備管理者は、補助者に対し職務の実施結果について報告を求め、その職務内容の正確な把握に努めるとともに、必要に応じてその情報を記録・保存するものとする。

(管理者との調整等)

第4条 整備管理者は、管理者と常に連携をとり、運行計画等を事前に把握し、定期点検整備の計画等について協議するものとする。

2 整備管理者は、毎月の自動車の整備状況等について、翌月の十日まで、管理規程に定める様式によ

第5編財務会計 整備管理規程

り、管理者に報告しなければならない。

(整備管理規程の改廃)

第5条 管理者は、この規程の改正又は廃止をするときには、整備管理者と十分調整するものとする。

(整備管理者の権限及び職務)

第6条 整備管理者は、規則第32条第1項各号に掲げる権限を有するほか、この規程に定める職務を遂行するために必要な権限を有するものとする。

第7条 整備管理者は、次の職務を遂行するものとする。

- 一 日常点検について、その実施方法を定め、それを実施すること又は運転者に実施させること。
- 二 日常点検の実施結果に基づき、自動車の運行の可否を決定すること。
- 三 定期点検について、その実施方法を定め、それを実施すること又は整備工場等を実施させること。
- 四 上記以外の随時必要な点検について、それを実施すること又は整備工場等を実施させること。
- 五 日常点検、定期点検又は随時必要な点検の結果から判断して、必要な整備を実施すること又は整備工場等を実施させること。
- 六 定期点検又は前号の必要な整備の実施計画を定めること。
- 七 点検整備記録簿その他の記録簿を管理すること。
- 八 自動車車庫を管理すること。
- 九 前各号に掲げる事項を処理するため、運転者、その他の者を指導し、又は監督すること。

(車両管理の範囲)

第8条 整備管理者は、選任された使用の本拠地において使用する全ての自動車について、前条の職務を遂行するものとする。

(補助者の権限及び職務)

- 第9条 補助者は、整備管理者の指示により整備管理者を補佐するとともに、整備管理者が不在のときは、運行の可否の決定及び日常点検の実施の指導監督等日常点検に関する職務を実施する権限を有するものとする。
- 2 補助者が前項の職務を行うに当たり疑義を生じた場合又は故障若しくは事故が発生した場合その他必要があると認められた場合には、速やかに整備管理者と連絡をとり、その指示に従うものとする。
 - 3 整備管理者が不在のときに補助者が職務を実施する場合、補助者は当該職務の実施に必要な情報について、あらかじめ整備管理者から伝達を受けるものとする。
 - 4 前項の場合において、補助者がその職務を終了して、整備管理者に引き継ぐときには、整備管理者にその職務の実施結果を報告するものとする。

(日常点検の実施の徹底)

第10条 整備管理者は、日常点検を確実に実施させるため点検箇所、点検の内容、点検の方法等について運転者に周知徹底を図らなければならない。

(日常点検)

第11条 整備管理者は、車両総重量8トン以上の車両（乗車定員11名以上の車両等）の安全確保及び環境の保全等を図るため、その運行の開始前に、自動車点検基準（昭和26年運輸省令第70号。以下「点検基準」という。）による日常点検を自ら実施するか、又は乗務する運転者に実施させなければならない。

(日常点検結果の報告等)

第12条 整備管理者は、日常点検を実施した運転者に対し、その結果を所定の日常点検表（様式第2号）に記入させ、整備管理者に報告させなければならない。ただし、整備管理者自らが実施した場合は、その結果を日常点検表に記入しなければならない。

(日常点検の結果の確認)

第13条 整備管理者は、日常点検の結果について、日常点検表により確認し、運行の可否を決定しなければならない。万一、車両の安全運行に支障をきたす不良箇所があったときは、直ちに管理者と連絡をとるとともに、整備を行わせる等適切な措置を講じ、整備を完了した後でなければ運行の用に供してはならないものとする。

(定期点検整備)

第14条 整備管理者は、車両の安全確保及び環境の保全等を図るため、定期点検整備の実施計画（以下「定期点検整備計画」という。）を定め、道路運送車両法（昭和26年法律第185号。以下「車両法」という。）第78条第4項に規定する自動車特定整備事業者に依頼する等して、これを確実に実施しなければならない。

2 この場合の定期点検整備とは、車両法第48条に規定する点検整備をいうが、車両の使用状態等により、整備管理者が必要と認めたときは、適宜、1箇月自主点検などの点検整備を実施するものとする。

(点検整備の記録及び保管管理)

第15条 点検整備の実施計画は、点検整備記録簿及び日常点検記録表等に所定の事項を記入し保存・管理するものとする。

2 点検整備記録簿については当該車両に据え置くものとし、事業場においては、その写し等を保存することとする。

第5編財務会計 整備管理規程

3 日常点検に係る記録については1年、点検整備記録簿及びその写し等については点検基準第4条に定める期間、これを保存するものとする。

(臨時整備)

第16条 整備管理者は、点検整備の確実な実施等により臨時整備をなくすよう努めることとする。やむなく発生した故障に対しては、発生年月日、故障(作業)内容、車両の使用年数、走行距離、使用部品等について記録のうえ、原因を把握し再発防止に努めるものとする。

(特定整備)

第17条 整備管理者は、定期点検整備、臨時整備等において実施する作業が、車両法第49条第2項に規定する特定整備に該当する場合には、必ず自動車特定整備事業者に作業を依頼するものとする。

(車両故障事故)

第18条 整備管理者は、車両故障に関する事故が発生した場合には、管理者と連絡をとり、適切な措置を講じ、原因の究明に当たるものとする。

2 整備管理者は、自動車事故報告規則(昭和26年運輸省令第104号)第2条各号に該当する事故であって、車両故障に関する事故が発生した場合には、管理者へ報告するものとし、管理者は、事故の発生から30日以内に、所定の事故報告書により、最寄りの運輸支局等を経由して国土交通省に報告しなければならない。

(車両成績の把握等)

第19条 整備管理者は、各車両の使用年数、走行距離、燃料消費率、油脂消費率、部品費、稼働率等を把握し、これらを活用して車両の性能の維持向上等に努めるものとする。また、保有車両について、不正改造等により保安基準違反となっていないかどうか等車両状態の把握に努め、保安基準違反となっている場合には、速やかに適切な点検整備を実施することとする。

(適正車種の選定、車両代替時期の把握等)

第20条 整備管理者は、各車両の使用成績等の把握により、それぞれ使用条件に適合した車種形式について検討し、その選択及び合理的な車両の代替時期について管理者に助言するものとする。

(燃料油脂、その他資材の管理)

第21条 整備管理者は、燃料、油脂の品質、数量の管理を行い、消費の節減に努めるものとする。

2 部品、タイヤ、その他の資材について、品質、数量を適切に管理し合理的な運用を図るものとする。

(点検施設等の管理)

第22条 整備管理者は、点検整備、洗車に必要な施設設備及び自動車の保管場所の管理を行うものとする。

る。

(整備管理者の研修)

第23条 整備管理者は、運輸局長から研修を行う旨の通知を受けたときは、当該研修を受けなければならない。

(補助者の指導教育)

第24条 整備管理者は、補助者に対して下表のとおり指導教育を行い、その能力の維持向上に努めるものとする。

指導教育を行うとき	指導教育の内容
補助者を選任するとき	<ul style="list-style-type: none"> ・整備管理規程の内容 ・整備管理者選任前研修の内容(整備管理者の資格要件を満足する者以外が対象)
整備管理者選任後研修を受講したとき	<ul style="list-style-type: none"> ・整備管理者選任後研修の内容
整備管理規程を改正したとき	<ul style="list-style-type: none"> ・改正後の整備管理規程の内容
行政から情報提供を受けたときその他必要なとき	<ul style="list-style-type: none"> ・行政から提供された情報等必要に応じた内容

(教職員の指導教育)

第25条 整備管理者は、点検整備等整備管理の職務に関する事項について、その周知徹底と知識の向上を図るため、整備要員、運転者その他必要に応じ教職員に対して指導教育を行うものとする。

附 則

この規程は、平成22年6月28日から施行する。

附 則 (H26.3.26 第81回理事会)

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則 (H30.3.28 第135回理事会)

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則 (R5.3.22 第198回理事会)

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

(様式第1号)

整備管理者選任名簿

整備管理規程第2条第1項及び第4項の規定により選任された整備管理者、整備管理の補助者の氏名、所属及び補助する職務の範囲については、以下のとおりとする。

自動車等の使用の本拠		(所属・住所)			
管理対象自動車等 (保有台数)					
種別	台数	種別	台数	種別	台数
普通自動車	台	小型貨物自動車	台	自動二輪自動車	台
乗合自動車	台	特殊自動車	台	軽自動二輪車	
小型乗用自動車	台	特種自動車	台	原動機付自転車 (50cc 以上)	台
軽四輪自動車	台				
				原動機付自転車 (50cc 未満)	台
				計	台

選任期間	選任の区分	所属・職・氏名	補助する職務の範囲 ※整備管理者の補助者のみ記載
. . から . . まで	<input type="checkbox"/> 整備管理者 <input type="checkbox"/> 整備管理者の補助者		
. . から . . まで	<input type="checkbox"/> 整備管理者 <input type="checkbox"/> 整備管理者の補助者		
. . から . . まで	<input type="checkbox"/> 整備管理者 <input type="checkbox"/> 整備管理者の補助者		
. . から . . まで	<input type="checkbox"/> 整備管理者 <input type="checkbox"/> 整備管理者の補助者		
. . から . . まで	<input type="checkbox"/> 整備管理者 <input type="checkbox"/> 整備管理者の補助者		
. . から . . まで	<input type="checkbox"/> 整備管理者 <input type="checkbox"/> 整備管理者の補助者		
. . から . . まで	<input type="checkbox"/> 整備管理者 <input type="checkbox"/> 整備管理者の補助者		
. . から . . まで	<input type="checkbox"/> 整備管理者 <input type="checkbox"/> 整備管理者の補助者		

(様式第2号)

日常点検表

(年 月 日 点検者)

登録番号		(車 名)													
		(登録番号)													
点検項目		良	不良												
車の周り	①車の下の汚れ※	<input type="checkbox"/>													
	② タイヤの空気圧	<input type="checkbox"/>													
	③ タイヤの摩耗	<input type="checkbox"/>													
	④ タイヤの異物や傷	<input type="checkbox"/>													
	⑤ ワイパーゴム※	<input type="checkbox"/>													
運転席	⑥ ブレーキパーキングの引きしろ	<input type="checkbox"/>													
	⑦ ブレーキペダルの踏みしろ	<input type="checkbox"/>													
	⑧ ブレーキの利き	<input type="checkbox"/>													
	⑨ 警告等の点灯	<input type="checkbox"/>													
	⑩ ランプ等の点灯・点滅	<input type="checkbox"/>													
	⑪ エンジンのかかり具合・異音	<input type="checkbox"/>													
エンジンルーム	⑫ エンジンオイルの量※	<input type="checkbox"/>													
	⑬ ブレーキ液の量※	<input type="checkbox"/>													
	⑭ バッテリー液の量※	<input type="checkbox"/>													
	⑮ 冷却液の量※	<input type="checkbox"/>													
	⑯ ウインド・ウォッシャ液の量と噴霧状態※	<input type="checkbox"/>													
	⑰ ベルトの傷み※	<input type="checkbox"/>													
	⑱ ホースの傷み※	<input type="checkbox"/>													

※印の点検は、道路運送車両法に定める日常点検項目には含まれませんが、当該車両の走行距離、運行時の状況等を見て実施してください。